

(仮称)総社市美術博物館の

早期建設を求めて決議

6月定例市議会の初日(平成25年6月3日)に、「(仮称)総社市美術博物館」の早期建設を市に求める決議案を全会一致で可決しました。

◆これまでの経緯

「県立吉備路郷土館」を無償で本市に移譲したいと平成20年に県から打診があり、これを受け、平成23年に市長は美術館に改修する構想を市議会に提案しました。議会は、市の負担が多いことなどから「美術館整備計画は白紙にす

べき」という調査報告を行いました。

その後、総務文教委員会は、博物館・美術館整備構想について、所管事務調査を行いました。その結果①本市は、未だ基本構想すら持っていないこと ②市や文化振興財団、学校の保有する美術品が、劣悪な保存状態あるいは公開環境であるが、特段の措置を講じていないことが判明しました。

このため委員会では、独自

に有識者を招き勉強会を開催、また、先進地視察も行って博物館・美術館構想に関する見識を深めました。そして、本委員会自ら博物館・美術館構想をまとめる決定をしました。

◆専門的知見の活用

4月開催の臨時市議会でも、専門的知見を活用することが決まり、吉備国際大学文化財学部もりやすおむの守安収教授に総社市の美術館・博物館の建設構想の調査を依頼。その調査報告書を基に、委員会として、独自に調査を行い、早期建設を求める「(仮称)総社市美術博物館建設構想に係る所管事務調査」の報告書をまとめました。

編集後記

相川七瀬さんを迎えての全国で三箇所のみとなった赤米の田植えも無事済み、夏本番を迎えています。

六月定例市議会では、議会基本条例も可決しいよいよ議会改革の形が整いました。三回目となる議会報告会も場所を変え小さな単位での皆様の「生」のお声をお聞きできたように思えます。すべての人が住んで良かったと思える総社の構築に議員一丸となって取り組むと共に、議会だよりがその一翼になるよう努めて参ります。(頓宮)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 西森 頼夫
- 副委員長 根馬 和子
- 委員 頓宮美津子
- 委員 小西 義巳
- 委員 秋山 律郎

